

needs 低コストで質の高い貨物運送サービスを提供したい

トラックの位置情報等をクラウド上で一括管理することでドライバーの稼働状況を可視化し、効率的な運行管理を実現

会社概要
 会社名 : 株式会社ハンナ
 事業内容 : 一般貨物自動車運送、貨物利用運送、貨物軽自動車運送、引越請負、保管倉庫
 従業員数 : 115名
 所在地 : 奈良県奈良市永井町 372

【お問い合わせ先】
 管理統括室長 西岡徳行
 TEL : 0742-63-8787
 E-mail : nishioka@hanna-tp.co.jp

背景
 ・社会全般の人手不足や若年層の車離れで、ドライバー不足が加速し、効率的な運行の必要性が高まった。
 ・運送業界の規制緩和（1990年頃）により貨物運送事業者が急増し値下げ交渉の過熱と燃料高騰が発生し、正しく原価を把握し市場変化に対応する必要性があった。

IoTを活用した課題解決の内容

- ・運行計画、トラックの位置情報等運行にかかわるデータを集約してクラウド上で一括管理することで、ドライバーやトラックの運行状況の可視化を実現。
- ・正確なデータの収集と見える化により、効率的な運行管理、労務管理や社員教育、営業への活用が可能。

・検討・開発期間 : 2年
 ・開発者 : 自社
 ・開発コスト : 非公開

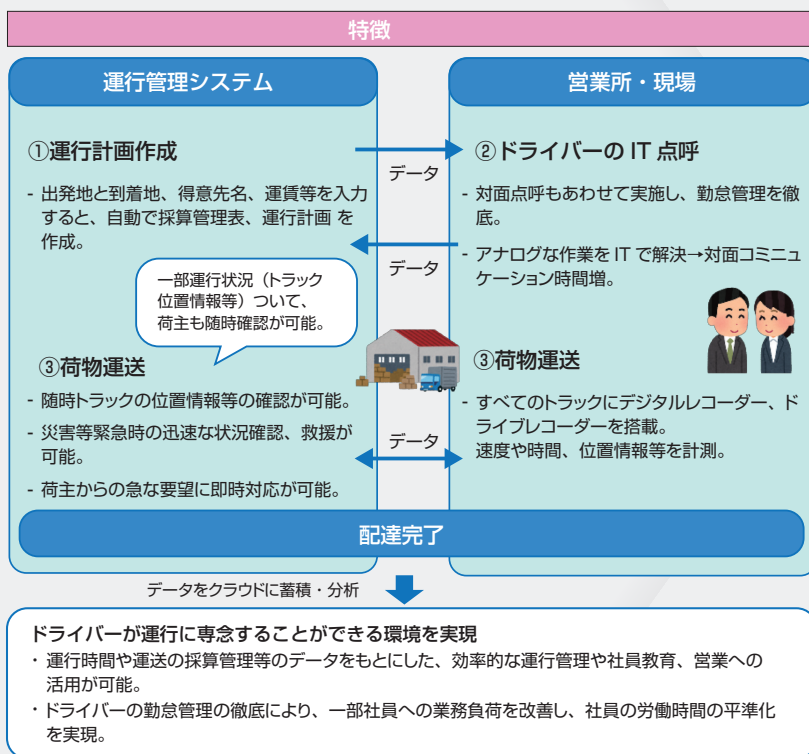
課題

- ・ドライバー不足が加速し、効率的な運行の必要性が高まった。
- ・運送業界の市場変化に伴い、コストダウンの必要性が高まった。
- ・荷主から選んでもらえる企業になるために同業他社との差別化の必要性。

解決方法

- ・運行にかかわるデータを集約してクラウド上で一括管理することで、ドライバーやトラックの運行状況を可視化に取り組む。

特徴



導入成果

- ・配車効率の向上 :
 (例) 配車担当者の労働時間 2時間/日短縮
 社員の有給休暇取得率 15パーセント/年増加
- ・トラックドライバー労働時間短縮 :
 (例) 月約 15時間/人
- ・トラックドライバー労働時間の均等化。
- ・社員の定着率向上 :
 (例) 導入前定着率 65% → 導入後 90%
 新卒入社者 0名 → 4名
- ・確実なデータ結果をもとにして、荷主への適正な運賃交渉が可能。
- ・正しい原価把握により、荷主の生産性目標が明確になった。

成功したポイント

- ・経営層が強い意識を持って、トップダウンで取り組んだこと。
- ・運行状況の見える化で、明確になった業務改善項目に即時取り組めた。又、上長の適切な支援にも繋がりが、社員のモチベーションが向上したこと。
- ・支援機関やコンサルティング等外部の力を積極的に活用したこと。

今後の展開予定

- ・社員の人事評価の数値化等、労務管理への活用、熟練ドライバーのノウハウの見える化へ活用し社員教育に活かす等、本システムのさらなる機能・精度向上を目指す。
- ・将来的に運行管理等にAIを活用することにより、リアルタイムの収支管理実現を目指す。